

## 少年時代に戻る時

DE:JA1WOB 齋藤章

ラジオやテレビなどで昔の歌を聞いたときに当時の風景や友達の顔が頭の中でよみがえることは良くある事ですね。

私は、昔の歌以外にも少年時代を思い出す事があります。

無線機のスイッチを入れて聞こえてくる SSB の復調音や CW の信号音を聞いた瞬間に、少年時代にラジオ工作に明け暮れていた頃を思い出します。

話の内容が 21 世期のスマホやパソコンの事やデジタル通信の話題でも復調音は 50 数年前と変わらないトーンで聞こえて来ます。

昔し、昔し、短波受信機を自作する中でアマチュアバンドか否かも、周波数も分からず、CQ CQ の CW 信号や JJY の標準信号を頼りに、バリコンのトリマーや IFT のコア回して感度アップ調整をしていた事を思い出します。

SSB の信号や CW の信号を BF0 の周波数調整をしながら上手く復調出来た時の事を思い出して、少年の頃にも戻ってしまいます。

また、FM のスケルチが開放されてテールノイズが聞こえる時は、モービルハムを始めた頃に遠方へ移動してノイズストレスの聞こえてくるフレンド局の信号に耳を澄まして聞いていた時の青春時代を思い出します。

これがいつまでもアマチュア無線から離れられない事かもしれません。

仕事や家庭が忙しくて、電波を出す事が出来ない QRT 状態の時でも、ワイヤーアンテナを上げて受信はいつでも出来る様にしていました。

仕事や家庭も落ちついた、1990 年に 10 数年振りに再開局となり、それから 30 数年ハムライフを続けています。

最近では、デジタルモードの JT65 や FT8 の信号の「ピーギャー」をモニターすると、パソコン創成期の 1990 年代に、BASIC のプログラムやデータを、カセットテープに保存したものを、カセットレコーダーで再生すると聞こえてくる音と同じで、仕事に追われながらも、プログラミングを楽しんでいた、中年の頃を思い出します。

そして、古希を過ぎた今でも、若い頃が懐かしくなって、無線機のスイッチをいれて聞きいってしまいます。

終わり